

高退互広報

退職予定会員向け

号 外

平成29年 12月12日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目 49 番 10 号 愛知県教育会館 5 F TEL (052) 261-2248 FAX (052) 241-0318

*ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> (高退互で検索)

退職会員に移行して、自らの終生のセーフティネットを備えましょう

今年度退職予定のみなさまにおかれましては、これまで現職会員として長年本会を支えていただき、誠にありがとうございました。

今みなさまは、一日一日を感慨深くお過ごしになると同時に、退職後の生活に不安を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。その第一は、健康への不安です。そしてそれは、医療費負担の増加への不安につながります。「2025年問題」をひかえ、今後さらに医療費の自己負担が増えることが予想される中、「療養補助金給付事業」を柱とする退職互助会は、まさに退職後の終生のセーフティネットなのです。

退職を迎えられたみなさまは、退職会員に移行することによって終生のセーフティネットを備えることができます。本会に加入して「本当に助かった」、「入っていてよかった」という意見が多く寄せられています。逆に、加入（移行）しなかった方から、「いまからでは入れないか」と悔やむ声がよく聞かれます。

本会に加入して療養補助金の給付をほとんど受けずに長寿をまっとうした方は損をしたのかもしれませんが。しかしそれは、退職後大きな病気をすることもなく健康に過ごせたということでもあります。「助けられる側」ではなく「助ける側」で生涯を終えることができた、これほど幸せなことはないのではないのでしょうか。

「2025年問題」に備える

来春、ご退職予定のみなさまにおかれましては、長年本会を支えていただき、心から御礼申し上げます。私も、みなさまと一緒に退職する予定ですが、幸いにしてこれまでは健康に恵まれ、当分の間は退職互助会の世話になることはないと思っています。しかし、「もし病気になったら…」という将来への不安感があります。そうした医療費負担増加への不安感、リスク回避のために私も終生のセーフティネットとなる本会に入会する予定です。

「2025年問題」という言葉をよく聞くようになりました。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、国民の5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という「超高齢社会」を迎え、膨大する医療費増加にどう対応するか、ということです。そして、その財源確保のために医療費の自己負担を引き上げざるを得ないのではないかと、ということもささやかれています。実際、本年8月に70歳以上の高額療養費の自己負担限度額が引き上げら

れ、来年8月からはさらに引き上げられることが決定しています。

医療費の推移を見ると、70歳以降に生涯の医療費の約半分がかかり、75～79歳でピークを迎えると言われています。しかし、そうした病気へのリスクが一層高まる私たちの10年後は、公的な支援である「公助」はさらに厳しくなっていることが予測されます。

こうした状況だからこそ、手術や入院はもちろんのこと、通院治療、処方箋による薬代など「他の医療保険ではカバーできない分野を、他の医療保険よりも安価に、しかも終生にわたってカバーしている」本会へ入会することのメリットは一層高まっていると思います。会員のみなさまが退職会員に移行するという「自助」で、終生の安心を手にしていただけることを願っています。

愛知県公立高等学校教職員退職互助会
理事長 笹尾 幸夫